



第19号
平成20年10月30日発行

いき議会だより



エイッ！はいれー！（10月4日 武生水保育所親子運動会）

① 地方自治法の改正に伴う、壱岐市議会会議規則の一部改正。
陳情・要請が採択されたことに伴い、意見書を国へ提出した（※詳しくは11・13ページに記載）。
② 郵政民営化法の見直しに関する意見書
③ 新たな過疎対策法の制定に関する意見書
④ 道路整備の安定的な財源確保を求める意見書

発議

議案23件（平成20年度一般会計・特別会計補正予算等）、決算認定1件、請願1件、陳情1件、要請2件を原案可決。決算認定1件（平成19年度壱岐市病院事業会計決算）は継続審査とした。

議案審議

○9月定例会（9/5～9/19）

議案1件（平成20年度一般会計補正予算2億1千926万1千円）を原案可決した（※詳しくは5ページに記載）。

○臨時会（7/31）

追跡 あん質問な、どんなった？
意識改革の指導徹底を！
15P

質問 10人が一般質問
壱岐市の財政状況ほか21項目
6P

特集 教えて！議会だよりができるまで
特 議会だよりへの報道記事に抗議！
2P

教えて!

いき議会だよりができるまで

特集

このコーナーでは「いき議会だより」がどのように編集・作成されて、皆様のもとへ届いているかを、第19号を例にくわしくお伝えします。



「いき議会だより」の概要

創刊年月日：平成16年5月1日 発行部数：11,000部（年4回）

1部当たりの単価：約24円（16ページの場合）

発行責任者：吉崎市議会議長 編集：議会広報特別委員会

入札方法：指名競争入札（平成20年度印刷製本業者名簿の中から、島内業者（3者）および過去に作成実績のある島外業者（2者）を指名）

9月10日 第1回委員会

定例会中に一般質問などの掲載記事やレイアウト、担当者を決定

ハイ

〇月〇日までに
原稿の提出を
お願いします。

議員



事務局

- ① 一般質問予定の議員へ一般質問用原稿用紙を配布
→ 一般質問した議員自身が発言内容を300字以内にまとめて提出
- ② 各委員長へ委員会レポート用原稿用紙を配布
→ 各委員会で審査した内容や経過・結果、閉会中の継続調査等を各委員長が委員会レポートとして600字以内にまとめて提出

9月22日 第2回委員会

- ① 各議員から提出のあった一般質問発言原稿の校正
- ② 各委員長から提出のあった委員会レポート原稿の校正

広報委員持ち帰り作業

- ① 校正後の一般質問発言原稿をもとに、各担当委員が会議録にて確認し、答弁内容を300字以内で作成
- ② 議案質疑内容を担当委員が会議録にて確認し、作成
- ③ その他の掲載記事、予算概要等も各担当委員が作成



9月30日 第3回委員会

- ① 一般質問答弁原稿の校正
- ② 委員会レポート原稿の校正
- ③ 議案質疑等掲載記事の校正
- ④ 写真の選定、レイアウトの編集

一般質問・議案質疑の答弁は
間違いがないか執行側に確認

分かりました！

答弁に間違いがないか確認をお願いします。

執行部



事務局

- ① 写真の撮影・収集（広報委員・事務局職員が分担して撮影・収集）
- ② 校正後の原稿・撮影した写真を印刷業者へ入稿（電子メールにて）
- ③ 印刷業者から初稿データの納品（電子メールにて）



レイアウトは
どうしますか？

色分けしたら分かりやすいかな…

もっと見出しを大きく…

10月8日 第4回委員会

- ①文章、レイアウトの校正（初稿データ印刷物にて確認）
- ②文字の色・背景の色等の校正（パソコン画面にて確認）

- ①校正内容を印刷業者へ指示（ファックス・電話にて）
- ②印刷業者から2校目データの納品（電子メールにて）

10月20日 第5回委員会

- ①文章、レイアウトの最終校正（2校目データ印刷物にて確認）
- ②文字の色・背景の色等の最終校正（パソコン画面にて確認）

- ①最終校正内容を印刷業者へ指示（ファックス・電話にて）
- ②印刷業者から最終データの納品（電子メールにて）

※公民館ごとに仕分け、発送

10月29日 印刷業者から各庁舎へ「いき議会だより」の納品

※公民館連絡便により各戸配布

10月30日～ みなさまのお手元に「いき議会だより」が届く

あ！議会だより
が来た。／

連絡便
です

連絡員

「いき議会だより」への報道記事に抗議！

20 壱市議第 409 号
平成 20 年 9 月 19 日

(株)壱岐日々新聞社
編集長 菊田 光孝 様

壱岐市議会議長 深見 忠生

貴社発行の「壱岐日々新聞」の記事に対する抗議について

貴社、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成 20 年 8 月 22 日発行の、貴社「壱岐日々新聞」の記事《窓：事実と違う？「議会だより」の謎》の内容中、『**当の議会が議場でのやりとりの事実とまるで逆の「議会だより」を出して**』については、事実でないものであり、市民に大きな誤解を与えるものと判断し、貴社に対し抗議するものであります。

なお、当議会の「議会だより」は、一般質問の、質問は議員本人が作成、答弁等については議事録をもとに作成しており、理事者側に確認をとった上で発行をしております。また、印刷業者決定については、島内外業者の指名競争入札にて行っております。

議案質疑

もうちょっとくわしゅう

壹岐いきウェディングから
「ふれあい交流事業」に
名称が変わったのね



キクちゃん

壹岐市職員の給与の特例に関する条例の制定

Q 附則の2で教育委員会の指導主事と医療職給料表(1)の医師は適用除外だが。

A 指導主事は県派遣職員、医師は人員確保のため。

Q 超過勤務手当の削減対策とチェック体制は。

A 予算配分・執行管理は通達等により適正化に努めている。所属の管理職に申請を行い、終了後は完了報告を行う2段階決裁のシステム。

年度	超過勤務手当実績
H16	1億916万6千円
H17	8,078万6千円
H18	7,222万9千円
H19	5,399万2千円
H20	4,985万1千円

※ H20年度は当初予算

長崎県離島医療圏組合の解散に関する協議

Q 本市も過去に費用負

担があったのでは。長崎県病院企業団に加入しない理由は。

A 費用負担はない。加入できないわけではないが、現時点では加入しない方向。加入したときは、その時点で考える。

平成20年度壹岐市一般会計補正予算

Q 壹岐いきウェディング廃止の理由は。

A 平成20年度から島内で開催し、「ふれあい交流事業」に変更したため。

Q 救急医療運営費補助金減額の理由は。

A 協生会品川病院が県へ病院群輪番制病院を辞退され、協議会で適当と認められたため、予算を減額した。

Q 使用済み自動車等海上輸送費補助金はどこから交付され、支出先はどこか。また、補助率は。

A (財)自動車リサイクル促進センターより交付され、島内3社の積み出し

業務に対して支出。海上輸送費の利用料金の80%を交付。

Q 優良雌牛銘柄確立推進事業で100頭以上の規模のときの選考配分方法は。

A 県産牛の指定交配牛と規制があり、100頭はいかない見込み。

Q プロバスケットボールチームの合宿誘致は、いつ頃、何人の来島か。

A 9月中旬に2度、計16日間、合宿に来島される。

Q プロバスケットボールチーム合宿誘致事業の予算の中に運営費等は含んでいないか。実行委員会はどのような組織か。

A 宿泊の助成だけで120万円まで。実行委員会は地元バスケットボールチームやライジング福岡の後援会、観光協会等各種団体から22人の構成。

Q 徘徊高齢者 SOS ネットワークシステム連絡協議会の委員数と選任方法は。

A 委員は18人程度。保



田河小学校を訪問したプロバスケットボールチーム「ライジング福岡」の選手

健所・警察・医療機関・交通機関・民生児童委員や社会福祉協議会など、ほか関係民間団体より選任。事務局は市民福祉課に置く。

Q 島内の徘徊高齢者の状況は。

A 40人程度の状況。

Q 観光アドバイザー設置事業の内容は。

A 民間の方をアドバイザーとして招き、市・観光協会へ全体的戦略や具体的手法など、全般的な助言を願う。

Q 過誤納還付金は税源

移譲に伴う改正で発生したものの。還付が遅延しているのでは。もう少し早くできなかったのか。

A 6月中に対象予定者の調査。7月末までの減額申告。現在、還付に関する事務手続き中。速やかに減額措置を対応する。

Q 学校給食費の詳しい予算内容は。

A 芦辺管内の自校式の学校給食費のガス代の助成168万円。学校用務員の退職による退職慰労金として352万円。

ボクも
一支国弥生まつりに
行くゾ!!

ユウくん

どんな補正があるの？

7月補正予算	一般会計補正額	2億1,926万1千円増
9月補正予算	一般会計補正額	4億6,388万3千円増
	特別会計補正額	1億8,933万円増

しまごとプロジェクト推進事業 425万円

一支国弥生まつり実行委員会補助金
シルクロード映画祭、音楽祭、
子守唄・神話創作朗読劇
食祭・各種古代体験、
夜神楽・島巡りワンコインバス等



一支国弥生まつり2008のポスター
(11月15日から11月24日の10日間開催)

廃棄物処理施設整備事業 2億3,345万円

最終処分場予定地隣接地用地購入費
一般廃棄物処理施設造成工事
汚泥再生処理センター造成工事



解体工事中の芦辺町クリーンセンター

全国消防操法大会経費 684万円

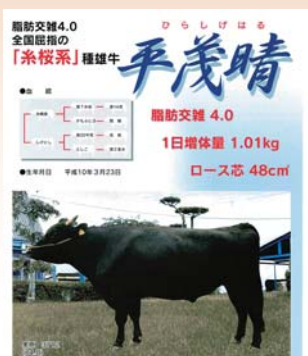
消防操法大会出場報償金
県消防協会壱岐分会負担金



見事準優勝に輝いた芦辺地区第1分団(10月12日 全国消防操法大会)

優良雌牛銘柄確立推進事業 600万円

優良雌牛群導入補助金 100頭



長崎県肉用牛の改良に貢献している種雄牛「平茂晴」

ガイダンス施設改修工事設計業務 委託料 454万円



ガイダンス施設として生まれ変わる現原の辻展示館

一般質問

傍聴者数 9月11日 約20人 9月12日 約15人

久間 初子 議員



Q 独居老人の安否確認を

本市も少子高齢化の進んでいる島である。安心安全のまちづくりができているのか。市内の独居老人は約1千600人、施設・病院への入居・入院者数は520人程度。社協の配食

サービスを利用していない独居老人の安否確認が不安。元気な高齢者に声かけ運動をしてもらうボランティア組織を作っては。

A 市長
地域力に期待

民生委員・公民館の班内の方々等、地域力を持つて安否確認し、見守り・声かけ・元気な高齢者の協力が得られる組織づくりを研究する。

Q 各商店街の活性化

商店の空き店舗を子育てに悩む親と高齢者の集いの場所にしては。

A 市長
安全上困難

安心・安全とあったセキユリティー[※]上の問題があるので、非常に難しい。商

渡良地区敬老会(9月14日)

店街再生は市商工会活性化委員会と対策を協議する。

Q 市主催敬老会

市になり、敬老会の内容等が変わり、敬老者の出席率が低下。昨年の反省・要望等が活かされていない。敬老者の方々の望みを一つでも叶えてあげたい。例えば、お茶の葉を弁当に、タオルを饅頭に、商品券を現金に変更するなど。

A 市長
出席率向上に努力

開催方法等、事業評価を基に、見直しできるものは見直す。出席率が上がるよう担当課で研究する。

※安全。保安。防犯。防犯装置。

町田 正一 議員



Q 厳しいときこそ夢を語れ

「今日の飯が食えないのに、島の将来や環境問題なんて考えられない。将来の夢や希望があるから今の改革に耐え忍べる。市長は考えるための休日を取るべき。夢ある将来像を語れ！」

①合併後10年の特別措置を含めても、現状、本市の財政は極めて健全な状況にある。経常経費の改善目標をどの程度まで設定しているか。

②ふるさと市町村圏基金10億円は合併後もそのままの状態であるが、取り崩しは可能か。

③合併振興基金20億円の使途は。

④市内では、雇用の安全弁になつてきた建設業に

ついてても新規雇用はできず、失業者があふれている。農業・漁業・商業等、まさに緊急対策を打ち出さねば、雇用の創出がでない。例えば、市営住宅を福祉住宅にして、建て替え計画を前倒しできないか。

⑤平戸市は4千万円の漁業等の燃油高騰対策を打ち出したが、本市はどうか。

A 市長

夢や希望が語れるよう頑張る！

①平成19年度の93.9%を、

せめて80%台にしたい。

②制限はあるが可

能。県を通じて総務省に事前協議が必要。

必要。



吉岐農業経営危機突破緊急決起大会(8月23日 吉岐文化ホール)

③当面、運用益の0.5%、0.6%は地域のコミュニティ[※]活動に。後年度、一定の条件をクリアした分は一般財源へ。

④住宅建設費は起債にも優遇制度がない。現在の住宅計画変更は、少なくとも2年間はできない。

⑤運送業等、他の業種の問題もあるので研究する。

※居住地域を同じくし、利害をもにする共同社会。町村・都市・地方など生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきをもつ共同体。地域社会。



全国漁業代表者漁業経営危機突破集会(7月15日 東京日比谷)

音嶋 正吾 議員



Q 総人件費を二割以上圧縮するとした選挙公約

① 選挙公約の整合性についてどう説明責任を果たすのか。

② 現在の市職員給与は国家公務員に準じるシステムである。官民給与格差

は増大しているが、民間給与水準調査も参考にし、地方分権社会に適応した、本市独自の給与体系に是正すべき。

A 市長

全職員でチェンジ・改革を！

① 職員給与5%、管理職手当30%カットは、一つの手法で第一段階。今後は公約実現に向け、職員の理解を求めていく。

② 本市は人事委員会を設け、置いていないので、国・県の勧告を尊重。地方公務員の労働基本権について「国家公務員の労使関係制度の措置に合わせ、整合性をもつて検討すること」とされ、今後、国の動向を注視し、本市の給与体系構築に取り組む。

Q 現行景気判断

① 各業種別の景気判断は。

② 財政健全化も重要であるが、可能な限りの景気対策が必要。特に燃油高騰支援策を検討すべき。

A 市長

非常に厳しい経済だ

① 農林水産業は非常に経営を圧迫していると認識。財政出動の時期が迫っていると思う。

② 燃油対策は必要。財源確保も含め、早急に研究する。

③ 一人でも多くの職員を雇用したい。嘱託職員はマニフェスト※外であり、任期中は約束を守る。

※選挙で有権者に政策本位の判断を促すことを目的として、政党または首長・議員等の候補者が当選後に実行する政策を予め確約(公約)し、それを明確に知らせるための声明(書)のこと。

深見 義輝 議員



Q 新たな農業振興

世界的規模の原油高騰により、燃料・飼料・肥料等、生産資材の価格が高騰し、農業経営を圧迫している。将来、農業組合法人が安定した運営ができるためにも、水稲を柱とした営農形態に新たな収入源として、畜産や施設園芸等により農業振興を図っては。

A 市長

支援策を講じる考え

集落営農は生産コスト削減を行う有利な方法だ。設立間もない組織であり、運営は厳しいと認識。5年後の法人化に向け、関係機関の協力を得て、国・県の事業を十分に活用して、できる限りの支援策を講じていく。

Q 観光振興

① 観光アドバイザーとして予算化されているが、管理職として採用しては。

② 「子ども農山漁村交流プロジェクト事業」の今後の取組は。

③ 観光客が釣りをしていて注意されたと聞いた。「釣りマップ」の周知は。

④ 硬式野球などのスポーツ交流が多くなっている。現在、勝本ダム球場を使用されているが施設整備が必要、早急な改善を。

A 市長

観光客岐をPRする

① 効果的な誘客促進を行うため、民間の方を管理職で採用予定。市・観光協会へ具体的な手法等、全般的に指導・助言を願う。

② 22の関係機関で受入推進協議会を発足し、今後、受入態勢の整備を図る。

③ 「アミ撒き餌禁止マップ」を作成、今後このようなことがないよう啓蒙する。

④ 今後の利用状況等、中学校・高校と相談し、年次的に改修。



試合開始!! (勝本ダム球場)

中村出征雄 議員



Q 今後の財政状況

①平成20年度末の一般会計起債残高278億3千300万円、特別会計を含めると379億円。市民一人当たり120万円以上となるが、
②地方交付税は合併特例法に基づき、合併後10年間は合併前の水準が維持

され、その後5年間で激変緩和措置がなくなり、厳しい財政となる。そのときはいくらの減額となるのか。また、合併特例法適用期間中の繰上償還の考えは。

A 市長

楽観はできない

①起債借入は市政運営および施設整備上、必要不可欠なもので今後も行わなければならない。しかし、起債のほとんどが交付税で後年度措置があるため、実質公債費比率は低い、財政が大丈夫だということにはならないと認識。

②平成20年度交付税は合併算定により約91億円の交付。一本算定との差が交付額で約18億円減額。起債の繰上償還は平成20、21年度実施予定。今後財源の見

補助金を一部活用して新築された日の組公民館(郷ノ浦町有安触)

通しが立てば更に進めていく。

Q 自治会(公民館)集会所整備事業補助金

旧町時代に引き続き、合併後も補助制度があったが、今年度より廃止になった経緯と自治会(公民館)への説明は。また、厳しい財政状況は理解するが、必要なものにはメリハリを付けた政策の復活を。

A 市長

慎重に対処する

平成17年度から県補助金が廃止され、市単独となり財政負担が非常に大きくなり廃止。平成19年度当初に旧町別自治公民館長会議で説明した。補助金復活は各自治会の公平性を保つために自主自立を基本に慎重に対処する。

小金丸益明 議員



Q 学校給食の今後の方針

①単独校調理場方式(自校方式)と共同調理場方式(センター方式)に対する、市の基本的考えは。
②学校統廃合に基づく学校給食の今後の方針と基本計画を示せ。
③学校給食事業は旧町時代の継続であり、平準化がなされていない。給食費と市の補助を統一すべき。

A 市長

共同調理場へ集約

①自校方式は給食を作る様子や大切さを理解したり、できたての給食を食べることができ、衛生面、セ

ンター方式は大量調理や一括仕入れによる経費節減、衛生管理を徹底できる反面、配送過程の課題がある。

②建設場所等の基本計画を策定し、平成23年度に市内の小中学校に対し、一カ所での学校給食共同調理場を計画している。
③給食費は、一カ所の共同調理場になれば統一可能。

補助は合併調整時に、生徒一人当たりの給食費にかかる単価の違い等もあり、現状のままで引き継いでいる。全て一律のサービスを受けていない面もあり、そういう不公平な部分は早く是正していく。

市内給食費・経費一覧 (H 19 年度)

(単位:円)

給食方式 町名	自校方式 芦辺町	センター方式		
		郷ノ浦町	石田町	勝本町
小学校(月額)	3,900	3,600		3,300
中学校(月額)	4,500	4,200		3,900
一人当たり経費(年額) (人件費等を含む)	78,104	45,056		



できたてホカホカの給食いただきます！(自校方式の芦辺小学校)

鵜瀬 和博 議員



べき。広報宣伝を組み合わせ、攻めの体制確立のため、抜本的な機構改革を。

A 市長

来年度に機構を見直す

平成21年4月には時代に即応した行政組織の見直しを行い、特に広報力・観光力を強化していく。

Q 観光・広報の集約強化を

観光産業は波及効果が大きく、全産業に占める消費割合も高く、島の活性化の最重要課題であり、さらに強化すべき。そのためには観光行政を集約し、連動した情報発信を戦略・積極的に行う

また、実際に壱岐へ観光客を連れて来た人を「観光大使」とし、集客数に応じ、各賞をあげたい。壱岐を離れる高校の卒業生等にも大使として頑張ってもらいたい。

Q スポーツ交流

誘致を

近年観光客は減少。スポーツ交流は年々増加傾向。誘致に力を注ぐべき。
①国体準備室も含めたスポーツ関連誘致をスポーツ課として統一しては。
②平成18年6月議会後の研究成果は。

芦辺保育所を訪問したライジング福岡の外国人選手

③トイレ等周辺も含めた体育施設や受け入れ態勢が整備されれば、さらに増加する。スポーツ施設振興計画は。

A 市長

スポーツ施設整備は重要

①簡素で市民にわかりやすい組織にするため課の統廃合も含め、参考にする。準備室は、十分な連絡調整と職員相互協力ができる体制を構築する。

③今後の優先課題として年次的に水洗化を推進し、ふれあい広場は来年度実施。大谷ソフトラボール球場は公式競技場へ、勝本ダム球場は一塁側のフェンスから年次的に整備する。

A 教育長

単独では難しい

②スポーツ課新設は厳しい。今後、競技力向上を図りたい。

町田 光浩 議員



Q 図書館整備の進捗状況

①以前から指摘されていた問題はどの程度改善されているか。

②市内公共図書館の蔵書管理、および小中学校等とのオンライン※化は。

A 教育長

夢はあるが金がない

①蔵書の取り扱いについては、消極的な策ではあるが処理をしている。司書の配置は行っているが、巡回および定期ミーティングは物理的な問題もあり、実現していない。
②今年度、郷ノ浦図書館に図書システムを導入する。オンライン化は、中

学校の統廃合や費用対効果の問題もあり、今後の検討課題。

Q 税賦課を平等に

地籍調査の完了時期は石田が合併前、勝本が平成17年度、芦辺が平成23年度予定、郷ノ浦が平成27年度予定。固定資産税等に反映されるまでに旧町間で10年以上の開きがあり、税賦課の不等が起きている。早急に改善すべき。

A 市長

元に戻すことは不可能

合併前に旧各町において、地籍調査完了後は新地積で課税する取り決め

があった。さらに、「地方税については現行のとおりとする。ただし、入湯税においては勝本町の例による。」と合併協定項目にある。旧石田町は合併前から新地積による課税がなされており、「現行のとおりと」とするならば現在の課税方法になると認識している。

※コンピューターの入出力装置などが、中央処理装置と直結している状態。



郷ノ浦図書館にて

近藤 団一 議員



Q これでもいいのか 税行政

合併前の滞納分もまだ解決していない。督促も、時効中断もしていない中で、みすみす5年の時効を盾に納税を免れる状況は、公正・公平の観点に立っても絶対に許される

ことではない。生活困窮、行方不明等を除いても、6月定例会で指摘したように任期4年と言わず、最初の1年の間に結論を出してもらいたい。真面目に納税している市民が不公平になるような状況は絶対なくしてもらいたい。

A 市長

徴収体制を強化

税の公平・公正な徴収は大変重要。徴収係を増員し、強化を図っている。平成19年度の差押え件数は76件。今後も悪質な滞

ために市民病院全体がさも悪いという状況はどうか。今回を境に徹底的に接客改善すべき。また、百数十人の職員を束ねる院長は、重要な議案や質問通告があるときは、議会へ出席を。

A 市長

院長・職員との積極的な対話を

職員の接遇は、病院内外での研修で積極的に職員の意識改革に努めている。改善策として、一般外来と検診業務を分けて実施。診療窓口で患者の個々に生じた不満について、その都度外来看護師に対応させている。今後、院長・職員との対話を積極的に行い、改善につなげていく。

A 病院事業管理監

Q 接客教育の徹底を 一握りの職員の

職員にしっかり伝えて、接遇の改善に努める。

市山 繁 議員



Q 市有遊休地の活用を

①遊休地の整理と進捗状況は。
②利用計画がない遊休地は公売し、民間活力導入の開発で活性化を図るべき。
③団塊の世代誘致は定住人口増と、遊休地開発は税収増と地域の消費増となる。これまでの実績は。

A 市長

早急に遊休地の整備を実施

①平成21年7月を目途に遊休地の整理を完了予定。
②老人ホーム先、1千800㎡の売却公募を行う予定。
③実績はないが、遊休地の調査が完了後、定住促進を図る。

Q 離島振興法の活用を

原油高騰で離島航路の運搬コストが、吉岐の経済に大きな影響を及ぼしている。基幹産業等に対する緊急対策も必要だが、長期的に対応できる離島振興法での対策を国に強く要望すべき。

A 市長

国へ強く要請

海洋基本法および離島振興法を大いに活用して、国へ積極的に働きかける。

Q 観光産業

一支国博物館の建設が吉岐観光の起爆剤として期待されているが、湯ノ本・猿岩・黒崎砲台周辺・イルカパーク他通年型として受け皿作りの島全体の観光地を再検討すべき。

A 市長

いきいきアイランドの実現

市観光協会と連携を図りながら、原の辻遺跡を最大限に活用して、夏場だけではなく通年型の観光立島を目指す。



市民病院職員研修会



猿岩と一緒に記念撮影



請願・陳情を審査しました！

請願 陳情 意見書 コーナー

採
択

中小漁業関連資金融通円滑化事業
(漁業・地域維持対策事業) による
漁業経営維持安定資金の保証責任
準備金に関する請願

○提出者 壱岐市漁業協同組合長会
会長 塚元 富夫
○紹介議員 豊坂 敏文、町田 正一、鵜瀬 和博、
久間 進、久間 初子、大久保洪昭

○採択となった請願については、市長へ請願書の写しを送付しました。

採
択

郵政民営化法の見直しを求める陳
情

○提出者 壱岐市老人クラブ連合会
会長 山本 義人

意
見
書

郵政民営化法の見直しに関する意
見書を内閣総理大臣ほか関係機関
へ送付しました

○提出者 壱岐市議会議員 町田 光浩
○賛成者 壱岐市議会議員 音嶋 正吾
同 田原 輝男

採
択

新たな過疎対策法の制定に関する
意見書提出の依頼について

○提出者 長崎県過疎地域自立促進協議会
会長 中尾 郁子

意
見
書

新たな過疎対策法の制定に関する
意見書を内閣総理大臣ほか関係機
関へ送付しました

○提出者 壱岐市議会議員 中田 恭一
○賛成者 壱岐市議会議員 坂本 拓史
同 鵜瀬 和博

採
択

道路整備予算の確保に関する決議
採択のお願い

○提出者 壱岐市長 白川 博一

意
見
書

道路整備の安定的な財源確保を求
める意見書を内閣総理大臣ほか関
係機関へ送付しました

○提出者 壱岐市議会議員 赤木 英機
○賛成者 壱岐市議会議員 深見 義輝
同 馬場 忠裕

不
採
択

最低賃金の引き上げと制度のさら
なる改正、中小企業支援を求める
陳情

○提出者 長崎県労働組合総連合
議長 川崎 一宏

(不採択の理由)

昨年、最低賃金法は、生活保護との整合性を考慮することや賃金の不払いに係る罰則の強化等を柱に改正され、労働者の最低賃金の改善と、それを保障する安全網が網羅されたところである。

当委員会は、最低賃金の引き上げや中小企業の支援等、一定の理解はできるが、改正法の趣旨や現行の地域別最低賃金制度が地域ごとの労働者の生計費、事業者の支払い能力等を考慮して定められており、基本的に現行の制度が望ましく、また、現在政府において最低賃金の大幅引き上げの検討がなされていることから、現段階ではその動向を注視すべきであると考え、今回の陳情は不採択とする。



予算特別委員会

委員長 町田 光浩

議案審査状況

9月定例会では、平成20年度一般会計補正予算4億6千388万3千円について審査した。採決の結果、原案可決した。審査の中で出された主な質疑と答弁は次のとおり。

Q ふるさと応援寄附金のPR等は。

A 各地区の壱岐人会等へ案内文・パンフレットの配布と地方紙に掲載。市ホームページに掲載中。

Q 結婚推進員に成婚報酬を支給すべき。

A 同感である。現在、結婚推進員選任は公募で実施し、活動中。

Q サンドーム壱岐の次年度運営方策は。

A プロポーザル方式で公募する。



厚生常任委員会

委員長 近藤 団一

議案審査状況

9月定例会で付託された案件は認定1件、条例改正2件、補正予算6件、協議2件の計11件。審査の結果、継続審査の認定1件を除き、全議案可決した。主な内容は次のとおり。

壱岐市認可地縁団体印鑑

条例の一部改正

係る民法の規定が削られたため、地方自治法で具体的に定められたことに伴うもの。例えば、公民館等の登記の場合、「〇〇公民館」という印鑑登録をする際、申請時に公民館長個人の印鑑登録証明書が必要となる。

壱岐市墓地、埋葬等に関する条例の一部改正

公益法人制度改革三法の施行に伴うもので、一部規制緩和がなされた。

長崎県離島医療圏組合の解散に関する協議

今まで長い間、長崎県・壱岐市・対馬市・五島市・新上五島町で構成されていた長崎県離島医療圏組合の解散に伴うもので、解散と財産処分に関する協議。なお、解散に伴って新たに県と対馬・五島・島原・南島

原・雲仙の5市と新上五島町で構成される長崎県病院企業団が設立される。本市は医療圏には加入していたものの、市民病院自体は加入しておらず、今回、壱岐市は設立団体への加入を見送った。加入したい場合は手続きを経ることにより可能。

特別会計（国民健康保険・老人保健・介護保険・後期高齢者医療事業・特別養護老人ホーム事業・病院事業）補正予算

10月から実施される職員給与の5%カット、管理職手当の30%カットに伴うものがほとんど。

委員会の意見

特別養護老人ホームについて、4月の人事異動により正規職員が3人減となっている。しかし、全体の業務状況をみると65人の職員のうち、正規は25人、嘱託7人、臨時33人というこの職場としては普通に考えられない職員構成になっている。また、臨時職員も正規職員となら変わりなく責任と任務を任されており、もう少し任用の面で考慮する

必要があるのではないかと。

また、正規職員3人の減により、4月からの夜間勤務体制が、それまで正規2人と嘱託・臨時3人を貼り付けていたものが、正規1人と嘱託・臨時4人という、ただでさえお年寄りの介助が不安な状況の中に、益々不安を増長するような状況を作り出している。

福祉の一番重要な部分の現場で働く職員の半数以上が、嘱託や臨時でカバーされているということは、事故の場合の責任上からも大きな問題である。

すぐさま即正とはならないまでも、年次を区切ってできる限り早急に改善されるよう切に希望する。

委員会継続審査

平成19年度病院事業会計決算認定については、さらに慎重な審査を必要とするため、10月中に審査する。



特別養護老人ホームにて



総務文教常任委員会

委員長 中田 恭一

議案審査状況

9月定例会では、議案5件、陳情1件、要請1件の付託を受け、審査を行った。採決の結果、全議案可決し、陳情・要請はともに採択となり、関係機関へ意見書を提出することに決定した。主な内容は次のとおり。

郷ノ浦町、勝本町、芦辺町、石田町の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する事項の一部改正

地域審議会の担当部署を各庁舎から本庁政策企画課へ変更するための条例の変更。

吉岐市附属機関設置条例の一部改正

地方自治法の改正により、語句の訂正と例規の整理等を行うもの。

地方自治法の一部改正に伴う関係

条例の整理

地方自治法の改正に伴う、議会議員の報酬等の条例の語句を変更するもの。

フェリーみしまの障がい者用昇降リフト



吉岐市職員の給与の特例に関する条例の一部改正

財政健全化を目的とし、人件費の抑制を図るため、平成20年10月1日から平成25年3月31日まで、一般職員の給料を減額するもので、基本給の5%、管理職手当の30%が減額となる。

吉岐市三島航路事業特別会計補正予算

人件費の補正と障がい者用リフトの修理等のための補正。

郵政民営化法の見直しを求める陳情

吉岐市老人クラブ連合会より提出されたもので、郵便・貯金・保険のサービスが、将来とも郵便局で確実に提供され、島民の利便に支障が生じないよう、法的な見直し等を要望するもの。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出

現行の過疎地域自立促進法の期限を平成22年3月末に控え、新たな過疎対策法の制定により、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化できるよう、国に対し要望するもの。

委員会所管事務調査

審査終了後、中学校の統廃合と学校給食、給食センターの今後の運営について調査・協議を行った。



産業建設常任委員会

委員長 赤木 英機

議案審査状況

9月定例会では、議案5件、決算認定1件、請願1件、要請1件の付託を受け、審査を行った。採決の結果、全議案可決、認定すべきものと決定した。

請願は採択し、市長へ請願書の写しを送付した。要請は採択し、国へ意見書を提出することに決定した。主な内容は次のとおり。

八幡浦地区特定漁港整備工事

請負契約の変更

外防波堤の延長による契約金額の変更。

損害賠償の和解

市道改良事業用地に係る権利者の住所を、本人に承諾を得ずに、市職員が代表相続人に教えたことでクレームが発生し、個人情報保護法にかかる、損害賠償の和解金を支払うもの。

簡易水道事業特別会計補正予算

人件費の補正と水道管敷設工事3路線。

中小漁業関連資金融通円滑化事業

(漁業・地域維持対策事業) による漁業経営維持安定資金の保証責任

準備金に関する請願

燃油高騰対策として、国の融資制度を活用することができる保証制度の充実のため、求償権償却費用負担として、市が9分の2の負担割合が必要なための請願。

委員会の意見

損害賠償の和解については、事業遂行のために止むを得ず情報を教えたものと判断するが、今後は職員の法令遵守を図ることで、高い倫理観に基づいて公務を執行し、不当要求行為の対応も含め、早急な対策を講じるよう要望する。

水道事業会計決算認定については、水道使用料の滞納額が年々増加傾向にある。徴収の努力は認めるが、なかなか改善に至っていないのが現状である。滞納者とは分納誓約書を取り交わし、悪質な場合は給水停止も含め、今後なお一層の徴収に努力されたい。



芦辺漁港浄化センター運転安全祈願祭(10月1日)

先進地から学ぶ



議会広報特別委員会

委員長 鵜瀬 和博

読んでもらえる議会だより

【研修目的と日程】

全国町村議会広報コンクールにて入選等を受賞している広島県坂町の議会だよりに対する取り組みを平成20年9月2日から3日まで調査・研修を実施した。

【研修内容と所見】

坂町（人口約1万3千人）

坂町の議会だよりは、住民に読んでもらえるような工夫をしていた。

「子どもたちの目から見た議会」：

町内3小学校の総合学習の一環として議会傍聴し、感想文を掲載。

「議会クイズ」：クイズ正解者の中から10人に図書券を郵送。議会への要望・意見等をクイズとともに募集。

「まちの声」「ちよつときになる」：寄せられた要望、意見に対し回答を掲載。

当委員会としても本市議会の活動状況を「いき議会だより」を通してできるだけ早く、住民へ少しでもわかりやすくお伝えし、読んでもらえるようにさらに工夫・編集していきたい。



坂町役場前にて



研修の様子



講師の小西砂千夫氏



大村市にて



長崎県市議会議員研修会

去る8月12日、大村市において、県下13市議会から約240人の参加により長崎県市議会議員研修会が開催された。

講師の小西砂千夫氏は関西学院大学大学院教授であり、総務省「地方行財政ビジョン委員会」委員長や「市町村合併研究会」座長など数々の委員を歴任されている。

今回は「今後の地方財政と地方自治の動向について」歳出・歳入一体改革と今後の地方財政計画の推移や国の動向、特に新しく創設された地方再生対策費4千億円の内容等講演された。

地方財政が厳しい中、今後さらに議会の監視体制の強化が必要とされている。

あの質問は…

追跡

あん質問な どえんなった?

どうなったの?

ミルちゃん

キクちゃん

質 問

平成 20 年 6 月定例会

公営駐車場料金体系の見直しを！

同区画の駐車場で、軽自動車と普通車の料金設定が違うのはおかしい。早急に改善すべき。

市長／全体的見地から見直しを

単価の見直しと合わせ、効率的な運営ができるよう改善する。

新年度より改正

利用料金は定額（4,000 円）の方向で、新年度より改正の予定。また、利用実績のない 2 ヶ所の駐車場は廃止の方向で検討中。

質 問

平成 20 年 6 月定例会

意識改革の指導徹底を！

市民への窓口対応が不十分。指導徹底を。

市長／直接コミュニケーションを

単に研修を重ねるだけでなく、直接対話の中で職員の自覚を高めていく。

全 24 回の意見交換会を実施

全職員を対象に「市長と職員との意見交換会」を、今年 7 月 10 日から 10 月 10 日までの勤務時間終了後に 24 回開催。



永田川駐車場



市長と職員との意見交換会（10月1日）

議員活動に対するご理解とご協力のお願い



議員からのお歳暮、年賀状等は
自粛させていただきます



政治家が選挙区内にある者に対して、下記の事項を行うことは、公職選挙法の規定により禁止されています。

また、有権者が政治家に対して下記の行為を要求することも禁止されています。

- お歳暮、お中元、花輪、祝儀、見舞い等の金品を贈ること（親族などを除く）
- 年賀状、欠礼（喪中）状、暑中・寒中見舞い状等のあいさつ状（自筆の返答を除く）
や有料のあいさつ広告を出すこと
- 各種行事に金品を送ること

従いまして、これらの行為については差し控えさせていただきます。市民みなさまのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

壱岐市議会 議員一同

お知らせ

市長行政報告・一般質問の音声を聞くことができます！

壱岐市ホームページ (<http://www.city.iki.nagasaki.jp>) 内の市議会のコーナーを検索すると、平成20年第3回定例会（9月5日開会・9月19日閉会）の市長行政報告および一般質問の音声を聞くことができます。市長や議員の生の声をあなたも聞いてみませんか？

また、市議会会議録は議会事務局、市役所本庁（総務課）、各庁舎（市民生活班）、各町図書館で閲覧することができます。議会でのどのような議論がなされているのかを知ることができますので、ぜひご利用ください。

おわびと訂正

前号（第18号）の記事の中で、一部に誤りがありましたので、おわびして訂正いたします。関係者の方には大変ご迷惑をおかけしました。今後はチェック体制をさらに強化していきます。

○5ページ （誤）医師公舎設計委託料 1,740万円

→（正）医師公舎設計委託料の増および工事請負費の増 1,740万円

編集後記

「秋の日はつるべ落とし」と言われるのに、追い打ちをかけるように、スポーツ・文化・地域の祭事と行事の多いこと。「忙しい、忙しい」と言いながら、慌ただしさの中に日々は過ぎていきます。

それに加えて政界も忙しくなりました。大時化の中を航海する「日本丸」の舵取りはどうなるのでしょうか？

祭事（政）とは、神と人の間を釣り合わせる：「間釣り」が「祭（政）り」となったと聞きました。平和な地球になるように祭（政）ってもらいたいものです。

（文）今西菊乃

議会広報特別委員会
委員長 鵜瀬和博
副委員長 今西菊乃
委員 豊坂敏文

委員 市山和幸
委員 深見義輝
委員 町田光浩



芦辺祭「ちんちりがんがん」10月7日



いき議会だよりは地球に優しい大豆油のインキで印刷されています。